

平成25年度

袋井市の健康づくり

～日本一健康文化都市を目指して～

静岡県袋井市



袋井市の健康づくり

～日本一健康文化都市を目指して～

I 静岡県袋井市のプロフィール

- ◇ 日本一健康文化都市宣言
- ◇ 袋井市総合計画
- ◇ 農を活かしたまちづくり

II 静岡県袋井市の健康づくり事業

III 日本一健康文化都市を目指して

- ◇ 中東遠総合医療センター
- ◇ 袋井市総合健康センター
- ◇ 袋井市立聖隷袋井市民病院



I 静岡県袋井市のプロフィール



◇人口 86,859人(平成25年4月1日)

男性 43,791人

女性 43,068人

◇面積108.56km²

◇高齢化率 20.6%

◇日本一の品質を誇る果実の王様「クラウンメロン」
産出額が多い 23億2,800万円



日本一健康文化都市宣言

合併前の旧袋井市において、平成5年11月3日に「日本一健康文化都市宣言」を行い、平成17年4月1日に旧浅羽町と合併、現在の袋井市となり、市制施行5周年を機に、新市として、平成22年5月16日に「日本一健康文化都市宣言」を行いました。

日本一健康文化都市宣言

～人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市～

青く輝く海原と緑あふれる大地に抱かれ、先人によって築かれたふるさとふくろいを、わたしたちは受け継いできました。

この恵まれた地域で、心やからだの健康を増進することはもとより、健康生活を支える自然を守り、地域社会を充実させていくことも、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、健康意識を高くもち、一人ひとりが「心の健康」、「からだの健康」、「まちの健康」を追求し、すべての人びとを幸せにしていきます。

わたしたち袋井市民は、住んでよかったという喜びを実感できるまちを目指し、ここに袋井市を日本一健康文化都市にすることを宣言します。

平成22年5月16日

袋井市総合計画 後期基本計画(平成23年度～平成27年度) 基本構想

まちの将来像

人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市

日本一健康文化都市とは

健康文化都市とは、心と体の健康はもとより、家庭や地域が温かく、都市と自然が調和するなど、人もまちもすべてが健康で、この地に暮らすみんなが、郷土に対する“誇り”と“喜び”を感じ、生活の向上と地域の発展を志向していくまちのことです。

健康文化都市を実現するためには、共生・協議・交流をもって、みんなで人づくりとまちづくりに取り組むことが必要であり、高いところさしの下に、明確な目標を持ち、自らが胸を張って誇れるまちを築くため“日本一”を掲げます。
すべての人々がこれを共通の理念として、後世にまで受け継いでいくこととします。

まちづくりの基本目標

みんなが健康で 安心して暮らせる 住みよいまち

市民みんなが健康で、生きがいをもって安心して暮らせるまちを築くため、快適な生活環境の創造と自然環境に配慮した都市基盤の整備を図ります。

また、福祉や医療サービスが充実した、災害に強く、犯罪のない安全で安心できる社会を実現し、だれもが住みよいまちづくりを目指します。

【安全・安心、快適】

未来を拓く心ゆたかな人と 活力ある産業が支える にぎわいのまち

ゆたかな心と、確かな知識と知恵を身につけた、たくましい人材を育みます。さらに、産業の担い手の育成や既存産業の革新と新たな産業の創出を促すことにより、にぎわいのあるまちの構築を目指します。

【人づくり、産業づくり】

ともに支え合い 力を合わせて 地域の発展につくすまち

これまで培われてきた「市民の力」と、自然や歴史・伝統文化などの「地域の力」を活かし、市民・地域・行政がともに支え合い、力を合わせてまちの発展を目指します。

【市民の力・地域の力】

温暖な気候、恵まれた
交通条件



温室メロン、茶、米
を中心とする名産品



田園や茶園が広がる
「農のある風景」



農を活かしたまちづくり

農の資源の最大活用

担い手確保

農業生産法人
13法人→35法人

販売の強化

農業産出額
99.2億→116億円

市民と農とのふれあい促進

市民農園
301区画→600区画

目標値：袋井市農業振興ビジョンH22～H31

農を活かしたまちづくり展開図

人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市

農を活かしたまちづくりの展開図

総合計画	政策1 みんなでつくる健康なまちづくり	政策2 みんなで備える安全・安心なまちづくり	政策3 みんなで取り組む快適なまちづくり	政策4 未来を拓く人づくり	政策5 活力ある産業づくり	政策6 ともに支え合う地域づくり
	健康・生きがい	安全・安心	快適・環境	子育て・教育・文化	産業・観光	コミュニティ・人材育成
生産	市民農園の拡充 (草の生え方の向上) 充実したサービス 水道、農機具 アドバイス、日常(平日)の世直し(ヒーリング)、健康づくり おしゃれ、スマート、ハイクラス 近くて、安い リハビリ農園 デイサービス農園 高齢者の知恵 高齢者の収入源 第2の故郷づくり(袋井版ダッシュ村) 園庭(校庭)芝生化 のびのび健康グリーン事業	地産地消 自産自消 安全・安心な農産物づくり 生産過程 残留農薬 有機農業・無農薬 医師がいらずのまちづくり 医農連携(医師のお墨付き 体に効く(医学的効果)農産物 野菜ソムリエ 業種調理師 土作り ミネラル豊富な水 第2の故郷づくり(袋井版ダッシュ村) 水田貯留 水田貯留	彩りのある田園景観創出 景観作物(コスモス、ひまわり等) 景観形成推進事業 菜の花エコプロジェクト 花と緑の推進事業 グリーンカーテン 生け垣づくり補助金 ごみの減量化・再利用・再資源化推進事業 生ゴミ堆肥 生ゴミ処理場の購入補助 公園整備事業 エコファーマーの支援	緑育推進事業 農村文化 報徳の精神 農のサイクル・節子 活用農園 子育て農園 収穫体験 お寺・お家師様 成長 生きる力 農を居かした農家 一校一農園 農業(どろんこ)体験 高齢者の活躍の場 土に親しむ日(十一日) 園庭(校庭)芝生化 のびのび健康グリーン事業	おためし農園 特産品開発(空き温室実験) 地球温暖化による産地北上 農業法人の誘致 民間の体験農園の誘致 職場・団体・企業の厚生事業 農の寺子屋 百姓先生 転職者支援 担い手育成 はじめてよう農業人育成事業 安全・安心な農産物づくり 産学官連携事業 研究機関との連携、産学連携 医農連携(医師のお墨付き 体に効く(医学的効果)農産物 土作り・土着菌の活用 ビジネス経営体 雇用の創出 障害者の雇用 農工商連携事業 加工、販売 6次産業、1.5次産業 農業イノベーション 新技術(電磁冷凍、光照 どぶろく特区、ワイン 農産物加工販売促進事業 製造体験 味噌づくり スイーツ おかずのレシピ 地場産レストランなるカフェ	市民農園整備事業 一自治会一農園 高齢者の活躍の場 地域、高齢者の収入源 地域住民のたまり場づくり 援農ボランティア 市民交流農園 市民農園拡充事業 収穫まつり 農を居かした農家 ニューファーマーの移住 サーファーマー おしゃれな かつこいい
流通・加工	雇用の創出 障害者の雇用 農産物販売 (開設支援)	製造体験 漬物コンテスト おかずのレシピ 地場産レストラン	ごみの減量化・再利用・再資源化推進事業 バイオマスの利活用 竹エネルギー活用促進事業 廃棄物(残さ)の再利用 刈草の堆肥化	美味しさ体験、ロコモ販売 製造体験 味噌づくり	農工商連携事業 加工、販売 6次産業、1.5次産業 農業イノベーション 新技術(電磁冷凍、光照 どぶろく特区、ワイン 農産物加工販売促進事業 製造体験 味噌づくり スイーツ おかずのレシピ 地場産レストランなるカフェ	農工商連携事業 加工、販売 6次産業、1.5次産業 農業イノベーション 新技術(電磁冷凍、光照 どぶろく特区、ワイン 農産物加工販売促進事業 製造体験 味噌づくり スイーツ おかずのレシピ 地場産レストランなるカフェ
販売	農産物販売 (開設支援)	どまんなか朝市、あさつばら市 産直販売 生産過程・生産者の表示 アンテナショップ、空き店舗の活用	ごみの減量化・再利用・再資源化推進事業 規格外農作物の商品化 廃棄物(規格外)の商品化 ICTの活用	学校バザー 販売体験 東海道どまん中袋井宿 空き店舗の利用	特産品の宣伝・販売 ふるまい宣伝事業 市内・地域内消費、市内飲食店 アンテナショップ、空き店舗の活用 おすそわけ便 食べられない農作物の商品化 都会の限界集落	特産品の宣伝・販売 ふるまい宣伝事業 市内・地域内消費、市内飲食店 アンテナショップ、空き店舗の活用 おすそわけ便 食べられない農作物の商品化 都会の限界集落
食す	食育推進事業 体に効く農産物、未病 業種のすすめ、旬菜食材 薬膳講座 お家師様・お寺 男の料理手料理 農工商連携(健康成分評価)	プロの料理人 業種調理師 地産地消 自産自消 地場産レストラン 給茶室の設置 いきいき健康グリーン事業	生ゴミを減らすメニュー開発 食育推進事業 給茶室の設置 いきいき健康グリーン事業	給食の地産地消 男の料理手料理 食育推進事業 給茶室の設置 いきいき健康グリーン事業	給茶室の設置 いきいき健康グリーン事業	給茶室の設置 いきいき健康グリーン事業
情報	市民農園開設 農産物の効能(農)	農地の効能(農)	農景観 荒廃農地 ICTの活用	活(勝つ)農BANK 農産物ブログ 利用可能な農地 協力的な人材 市民のニーズ	人材、高い技術 イベント 二地域居住情報 空き家、農地	イベント 二地域居住情報 空き家、農地
その他	避難地 災害時の食料庫 農地・水・環境保全向上対策事業	ヤギ(山羊)奨励	地域のみちめぐり プレパーク	農地・水・環境保全向上対策事業	農地・水・環境保全向上対策事業	農地・水・環境保全向上対策事業

※注1 青字は、既に実施している事業
 ※注2 赤字は、平成22・23・24年度実施事業
 ※注3 緑字は、総合計画(H23～27年度)の主要事業
 ※注4 その他は、事業展開のアイデア・ヒント

Ⅱ 静岡県袋井市の健康づくり事業

「健康チャレンジ!! すまいる運動」

重点期間

7月1日～11月30日(5か月間)
＜健康マイレージ制度実施期間＞

平成19年度から開始 本年度7年目

「健康マイレージ制度」



健康づくりをポイント化し、貯まったポイントを公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換、あるいは、幼稚園や学校等へのポイント寄付を通じて社会貢献ができる制度です。

「健康チャレンジ!! すまいる(SMILE)運動」

「健康チャレンジ!! すまいる(SMILE)運動」とは.....

豊かな人生と健康長寿の実現のため、市民一人ひとりの健康的な生活習慣の定着を目指した市民総参加の健康づくり運動です。

すまいる
SMILE

S＝運動 (sport) ...適度な運動をしよう! プラス

M＝食事 (meal) ...バランス良く食べよう!

I＝内臓脂肪 (internal fat) ...内臓脂肪を減らそう!

L＝生活 (life) ...生活のリズムを整え、生活習慣病を予防しよう!

E＝楽しむ (enjoy) ...楽しみながら健康づくりにチャレンジしよう!

+

禁煙しよう!

重点期間

7月1日～11月30日(5か月間)

＜健康マイレージ制度実施期間＞

健康マイレージ制度の概要

～あなたを、まちを元気にする制度です！～

健康づくりの実践・記録



実践状況をポイント化

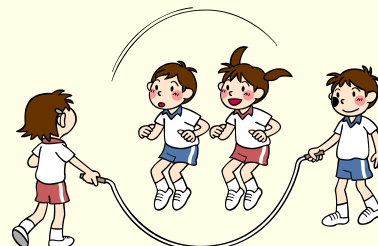
公共施設利用券と交換

さらなる健康増進



民間の登録サービス券と交換

まちの活性化



幼稚園・学校へポイント寄付

教育環境の充実

15歳以上(大人)の参加方法

【参加方法1】 e-すまいる



登録特典50ポイント

【最大】
1,018円／5か月

【参加方法2】 すまいるカード

運動の取組	スリッパ	寝る前	起床後	その他	合計
①	○	○	○	○	④
②	○	○	○	○	④
③	○	○	○	○	④
④	○	○	○	○	④
⑤	○	○	○	○	④
⑥	○	○	○	○	④
⑦	○	○	○	○	④
⑧	○	○	○	○	④
⑨	○	○	○	○	④
⑩	○	○	○	○	④
⑪	○	○	○	○	④
⑫	○	○	○	○	④
⑬	○	○	○	○	④
⑭	○	○	○	○	④
⑮	○	○	○	○	④
⑯	○	○	○	○	④
⑰	○	○	○	○	④
⑱	○	○	○	○	④
⑲	○	○	○	○	④
⑳	○	○	○	○	④
㉑	○	○	○	○	④
㉒	○	○	○	○	④
㉓	○	○	○	○	④
㉔	○	○	○	○	④
㉕	○	○	○	○	④
㉖	○	○	○	○	④
㉗	○	○	○	○	④
㉘	○	○	○	○	④
㉙	○	○	○	○	④
㉚	○	○	○	○	④
㉛	○	○	○	○	④
㉜	○	○	○	○	④
㉝	○	○	○	○	④
㉞	○	○	○	○	④
㉟	○	○	○	○	④
㊱	○	○	○	○	④
㊲	○	○	○	○	④
㊳	○	○	○	○	④
㊴	○	○	○	○	④
㊵	○	○	○	○	④
㊶	○	○	○	○	④
㊷	○	○	○	○	④
㊸	○	○	○	○	④
㊹	○	○	○	○	④
㊺	○	○	○	○	④
㊻	○	○	○	○	④
㊼	○	○	○	○	④
㊽	○	○	○	○	④
㊾	○	○	○	○	④
㊿	○	○	○	○	④

【最大】
918円／5か月

① ポイント対象活動



② 実践状況を市へ提出



③ ポイント取得



④ ポイント交換申請

運動系の健康づくりの目標を立て、実践

食事系の健康づくりの目標を立て、実践

ウォーキング(歩数又は歩行時間)の記録

公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換

幼稚園や学校等にポイント寄付

子ども(幼稚園、小・中学校等)の参加方法

【参加方法】 すまいる手帳
＜6月15日～7月14日・1か月間＞

子どもたちの参加はすべて学校等へ

各目標15ポイント
【最大】30ポイント

① ポイント対象活動



② 実践状況を市へ提出



③ ポイント取得



④ すまいる報賞金支払い



食育 「いろんな野菜を食べよう！」

徳育 ＜園児＞「ありがとうを言おう！」
＜児童・生徒＞「役立つことをしよう！」

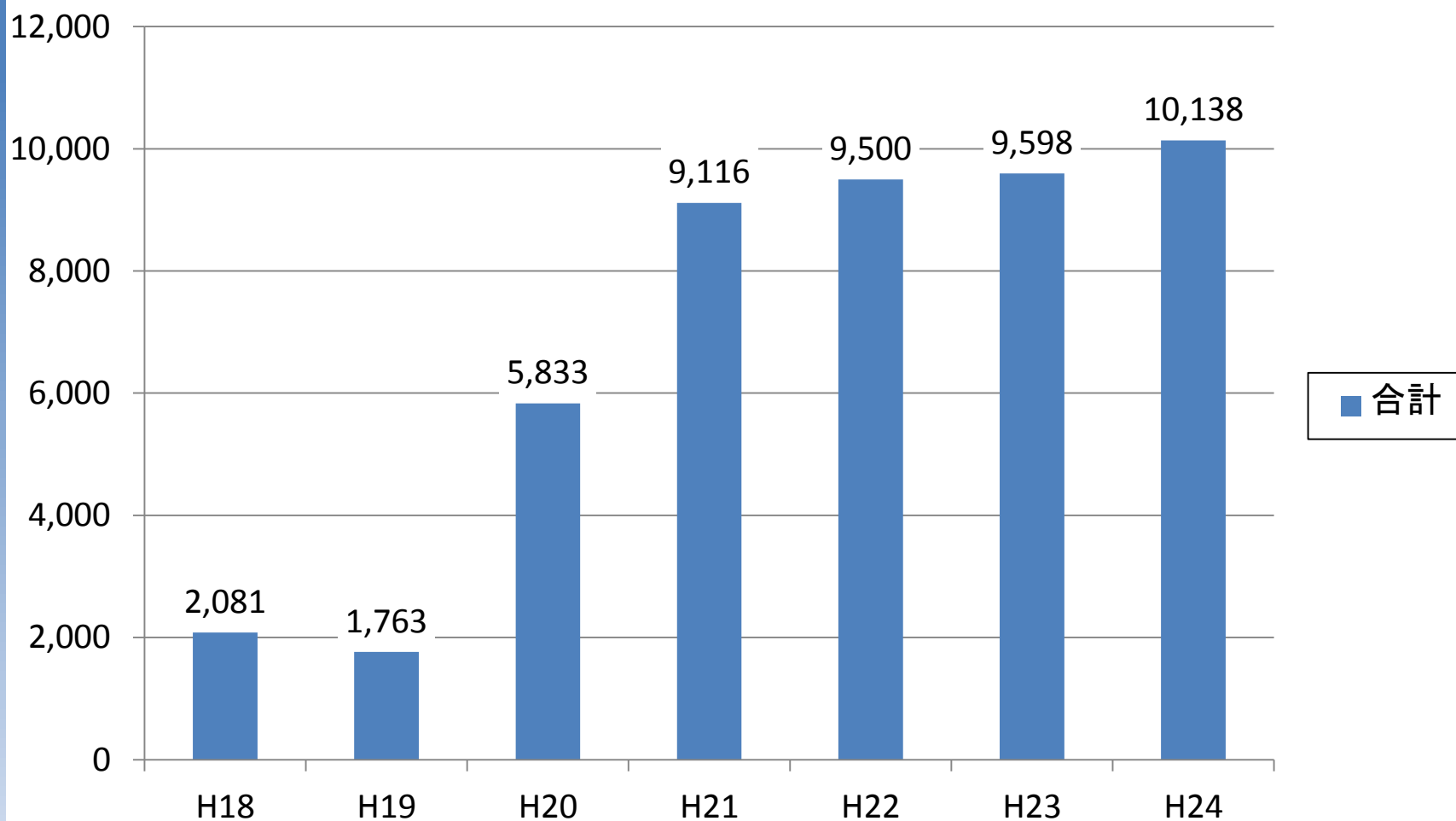
すまいる報賞金活用事例



平成22年度 袋井東小学校 『すべり台完成』

健康マイレージ制度参加者数(平成18年度～平成24年度)

【単位:人】



「健康チャレンジ!! すまいる運動」

出前健康教室(公会堂・公民館等・事業所・地域活動サークル)

出前健康教室は、平成15年度から始まり、市民の生活習慣を見直すきっかけづくりや正しい運動・生活習慣の定着に資することを目的として、運動講師・保健指導者を健康教室へ派遣し開催する講師派遣型の健康教室である。

- ◇ 出前健康教室の区分
 - ① 公会堂出前健康教室 <平成18年度～>
 - ② 公民館等出前健康教室 <平成21年度～>
 - ③ 事業所出前健康教室 <平成20年度～>
 - ④ 地域活動サークル出前健康教室 <平成24年度～>

- ◇ 出前健康教室の講師 市登録講師数 38人 (平成25年4月1日現在)
 - ・運動講師育成のため
➡ 「健康運動リーダー養成講習会」の開催
 - ・講師スキルアップのため
➡ 「地域健康づくり指導者研修会」の開催

- ◇ 健康親善大使 長野 茂氏 に委任 (平成20年度～)
 - ・「日常ながら運動」考案者

出前健康教室では、いつでも気軽に運動に取り組むことができる「日常ながら運動」を紹介

「健康チャレンジ!! すまいる運動」

健康づくり推進員

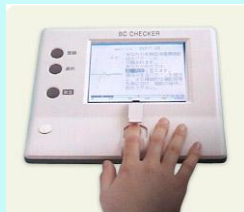
健康づくり推進員は、地域における健康づくり活動と、市の実施する健康づくり事業の効果的な推進を図るため、各自治会から男女1名ずつ選出、市が委嘱している。

- ◇ 主な活動 「公会堂出前健康教室」の企画・運営
「地域健康寺子屋」開催（地区担当保健師との連携・協力）
健康づくり事業、健診事業等の事業PR

健康年齢測定事業

平成24年度から『健康の見える化』により『実年齢』と『健康年齢』とのギャップから健康づくりへの動機付けとなることを目的として実施。

- ◇ 測定器 ① 血管年齢測定器
② 肺年齢測定器



血管年齢



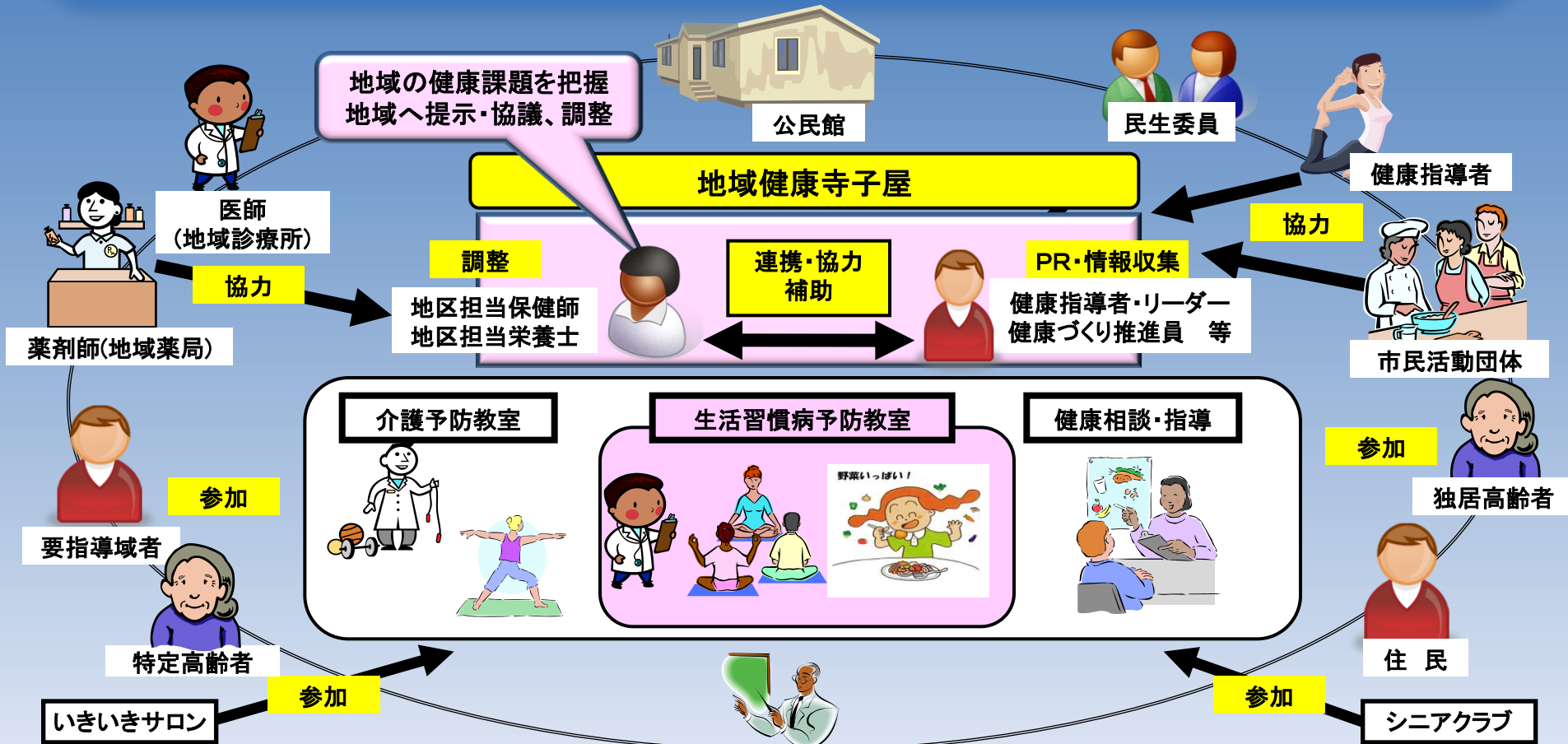
肺年齢



地域健康寺子屋

市内13地区の公民館で、地域の健康課題を把握し、教室内容、運営を地域住民と連携・協力して開催する健康教室。

平成22年度にモデル地区3地区から事業を開始し、平成24年度より全13地区で開催。健康づくりの核となるリーダー、地域組織、行政等で構成・運営する地域ヘルスプロモーションを目指している。



地域健康寺子屋の実施状況

平成22年度【モデル地区3地区での開催】

◇ 開催地区	3地区・・・笠原・山名・浅羽東				
◇ 内 容	テーマ：「糖尿病」 知識編・運動編・食事編をセットにしたパッケージ型病態別教育				
◇ 参加人数	笠 原	3回開催	延べ	151人	
	山 名	3回開催	延べ	53人	
	浅羽東	4回開催	延べ	61人	合計 延べ 265人

平成23年度【前年度3地区(自主的開催) + 新規2地区での開催】

◇ 開催地区	5地区・・・笠原・山名・浅羽東・袋井北・浅羽南				
◇ 内 容	テーマ：「糖尿病」 知識編・運動編・食事編をセットにしたパッケージ型病態別教育				
◇ 参加人数	笠 原	2回開催	延べ	31人	袋井北 4回開催 延べ 46人
	山 名	10回開催	延べ	164人	浅羽南 4回開催 延べ 55人
	浅羽東	3回開催	延べ	34人	合 計 延べ330人

平成24年度【全13地区で開催】

◇ 開催地区	市内全13地区			
◇ 内 容	「糖尿病」食後高血糖と老化 ～血液・食事からのアンチエイジング～ 健康講話・調理実習をセットにしたパッケージ型病態別教育			
◇ 参加人数	合計	延べ36回開催	延べ	570人

Ⅲ 日本一健康文化都市を目指して

中東遠総合医療センター

平成25年5月1日 開院

全国初の自治体病院の統合

～ 袋井市立袋井市民病院 と 掛川市立総合病院 ～

- ◇ 中東遠地域の中核病院
- ◇ 2次救急を中心とした地域救急医療体制の充実
- ◇ 災害に強い病院

概要

延床面積	約 46,151 m ²
規模・構造	地上8階 鉄骨造（免震構造）
病床数	500床
標榜診療科目	33科
外来患者数	1,200人/日



中東遠総合医療センター

中東遠総合医療センターの経緯

袋井市立袋井市民病院

昭和54年12月新築開院

掛川市立総合病院

昭和59年4月新築開院

共通課題

施設の老朽化・医師不足・経営の悪化

将来基本構想検討会設置

平成18年2月

将来構想検討会設置

平成18年8月

新病院建設は広域的に考えるべき


平成19年12月 新病院建設協議会設置

平成21年 1月 「合同建設に関する協議書」締結

平成21年 3月 建設用地の決定・取得

平成21年 7月 「新病院建設事務組合」設立

中東遠総合医療センターの経緯

- 
- 平成21年 8月 医療機能懇話会開催（計3回開催）
 - 平成22年 5月 造成工事着手
 - 平成23年 7月 本体建設工事着工
 - 平成23年12月 新病院名『**中東遠総合医療センター**』決定
 - 平成25年 3月 建設工事竣工
 - 平成25年 4月 掛川市・袋井市病院企業団設立

平成25年5月
『**中東遠総合医療センター**』開院

袋井市総合健康センター整備事業

健康支援センター(公設公営)

外来・健診センター (公設民営)



総合内科的な外来の開設
(他の医療機関紹介機能を含む)

※社会福祉法人「聖隷福祉事業団」と指定
管理者制度による委託。外来のみ開設

健診機能
(検診車を使った健診)



総合的な相談窓口の開設
(保健・医療・介護・福祉分野)



健康見守りネットワーク運用
(認知症者、一人暮らし高齢者など)

※地域包括支援センター等と連携



健康指導センター(公設公営)



病態別健康教育の実施
オーダーメイド健康指導の実施
(生活改善の支援と重症化の予防)

※保健センターを中心とした保健活動、健康指導の推進



学校での健康学習講座の開催
継続的な地域健康教室の開催
(行動変容の促進と疾病・介護予防)



健康を守る。

支えになる。

一般病床・回復期リハビリ病床 療養病床 150床程度(公設民営)



一般病床・回復期リハビリ病床の開設
(新病院の後方支援、専門的なリハビリ)

医療療養病床の開設
(在宅医療の支援、新病院の後方支援)

※社会福祉法人「聖隷福祉事業団」と指定
管理者制度による委託。外来のみ開設。



休日夜間急患センター (公設公営)

<曜日・時間帯は未定>



一次救急医療のセンター化
(いつも同じ場所で実施)

※救急当番医を在宅輪番制からセンター方式
へ移行。移行には医師会の同意が条件



在宅療養支援センター (民設民営)

在宅療養支援ステーションの開設
(訪問看護・訪問リハビリなどの実施)

※24時間訪問看護・介護を行う民間事業者等へ
順次移行



在宅患者

平成25年6月1日 開院

～旧袋井市民病院の利活用～

袋井市立聖隷袋井市民病院

聖隷福祉事業団と指定管理者制度による委託

- ◇ 急性期病院の後方支援病院
- ◇ 中東遠圏域の医療機関等との連携による切れ目のない医療・療養環境

概 要

開院当初 外来：内科・脳神経外科
一般病床 50床

予 定 医療療養病床 50床
回復期リハビリテーション病床 50床
健診機能





説明は以上です。
ご清聴ありがとうございました